

山口県薬剤師フォーラム 2018

日時：平成 30 年 12 月 2 日（日）

会場：海峡メッセ下関 1 F 展示見本市会場

《 特別講演 1 》

講師 ● 山本 滋（山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 診療准教授）

演題 ● 「乳がん」

座長 ● 山崎 博史（山口県病院薬剤師会会長）

山口県ではまだ数少ない日本乳癌学会認定の「乳癌専門医」であり、手術療法に関しては、適応に基づいて乳房温存手術、乳房切除術、乳房再建（形成外科グループと協力）が行われています。また、再発をおさえるため、世界的にエビデンスのあるホルモン治療、化学療法、分子標的治療が行われています。

（山口県病院薬剤師会会長 山崎博史）



《 特別講演 2 》

講師 ● 末松 文博（独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院 薬剤部長）

演題 ● 「医師と協働したポリファーマシー対策と病診薬連携」

座長 ● 佐藤 真也（山口県薬剤師会常務理事）

全国の政令指定都市の中で最も高齢化が進んでいる北九州市において、八幡地区を中心とした医師会や薬剤師会、大学病院や基幹病院のキーパーソンが世話人となった「北九州高齢者薬物療法研究会」を立ち上げられました。医師と薬剤師が協働したポリファーマシー対策を実践しておられ、その取り組みはマスコミなどからも注目されるとともに、行政からも協力依頼を受けています。

（山口県薬剤師会常務理事 佐藤真也）

